

けんかした後だと
ヒリヒリ?

東雲堂（福岡市博多区）といえど、「たまに」はけんかに負けて、「いのCM」おなじみ、二〇加煎餅が定番商品。その同社がこの冬力を入れて、「唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛いだけでなく、うますぎがある」と多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛いだけでなく、うますぎがある」と多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛いだけでなく、うますぎがある」と多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛いだけでなく、うますぎがある」と多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛い(?)めんたいこ「辛皇ホットエンペラー」だ。ことし6月発売ですでに1万個を販売した。リピーターが多いという。

ふくや（福岡市博多区）中洲本店の川良希さん「押しのお土産品は、日本一辛い(?)めんたいこ「辛皇ホットエンペラー」だ。ことし6月発売ですでに1万個を販売した。リピーターが多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛いだけでなく、うますぎがある」と多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛い(?)めんたいこ「辛皇ホットエンペラー」だ。ことし6月発売ですでに1万個を販売した。リピーターが多いという。唐辛子やブラックペッパーをはじめ7種類の香辛料をブレンドした。ただし辛い(?)めんたいこ「辛皇ホットエンペラー」だ。ことし6月発売ですでに1万個を販売した。リピーターが多い」という。

東雲堂

ごめーんたいせんぺい



博多駅マイング店
小川寿子さん



年末年始

川端店

秋野華奈子さん



明月堂

川端ぜんざい

博多商人の血が今なお引き継がれている川端商店街（福岡市博多区）。かつてここに「日本一甘い」と言われたぜんざいを食べさせる店があった。以前この地に工場があった明月堂（同）は当時の味を再現した「川端ぜんざい」を商品化し、冬の人気商品となっている。かつてほどではないものの濃厚なさが特徴。パッケージには餅が1個同封されているが、これに自分で買った餅を1~2個追加しても十分おいしいだけだ。

川端店長の秋野華奈子さんは「若人からお年寄りまで幅広い層に人気です」とニッコリ。年間を通じて販売しているが、レトルト商品なので半分程度は保存可能なもつれしい。一袋480円。週末などに営業している川端商店街内の「ぜんざい広場」でも頂くことができる。

何個でも
いけそう

おひとついかがですか？

ふくや

辛皇一ホットエンペラー



中洲本店
川良希さん

のお土産情報

博多デイトス店
浅野恵美さん



二鶴堂

中洲 de いちご

この製品は今年で創業60年を迎えた同社の冬季限定商品。創業の地である「中洲」の文字を商品名に取り入れた。100gの丸筒箱が630円。12個入りの四角箱が1,050円。博多駅や福岡空港などの特定お土産店舗で販売中だ。

酸いも甘いも：
が受けます

実家への帰省や新年のあいさつ回りなど、年末年始はお土産が欠かせない季節。相手方の家族構成や好みを考えてどんな物を手渡すか迷いをあぐらせるのは、悩みもするが楽しいひとときだ。食品メーカーがこの冬いち押しの逸品を紹介する。

博多バームステイック

新・食・感 サクサクのバームクーヘン



博多新みやげ

お問い合わせ
〒812-0054 福岡市東区馬出6丁目15-21
TEL 0120-969-641
<http://www.nikakudou.co.jp/>

二鶴堂

ざびえる

天文20年(1551年)豊後の国を訪れたフランシスコ・ザビエルは大友宗麟の庇護を受け、府内の街に南蛮文化の花を咲かせました。その功績を讃えて、和洋折衷菓子・南蛮菓「ざびえる」が誕生しました。バター風味の効いた洋風の皮と精選された純和風の白餡とラム酒レーズンの刻み込んだ二種類の餡が、遠い昔の府内の夢へと誘います。

南蛮ロマンと日本伝統の味の融合
和洋折衷菓子「南蛮菓 ざびえる」



〈株〉ざびえる本舗

〒870-0319 大分県大分市大分流通業務団地1丁目3-11
(福岡営業所) 〒812-0893 福岡市博多区那珂3丁目27-17 アネックス那珂102号
TEL 097-524-2167(代) FAX 097-524-2168
TEL-FAX 092-473-6208
<http://www.zabieu.com> [検索]